

阪急文化財団

2019展示 I



西洋 ちよこつと

-1935年、小林一三の欧米旅行記から

アンティーク



2019年
1月19日(土)~3月31日(日)

- 【休館日】 毎週月曜日(祝日の場合は開館、翌火曜日が休館日)
※2月25日(月)~3月1日(金)展示替え休館
- 【開館時間】 10時~17時(入館は16時30分まで)
- 【観覧料】 700円 ※シニア(65歳以上)の方は入館料500円 ※その他各種割引料金がございます。
- 【研究発表
と座談会】 3月3日(日)11時~17時「1930年代の日欧美術交流(仮)」
講師 神戸市立小磯記念美術館・神戸ゆかりの美術館 館長 岡 泰正氏 他

逸翁美術館

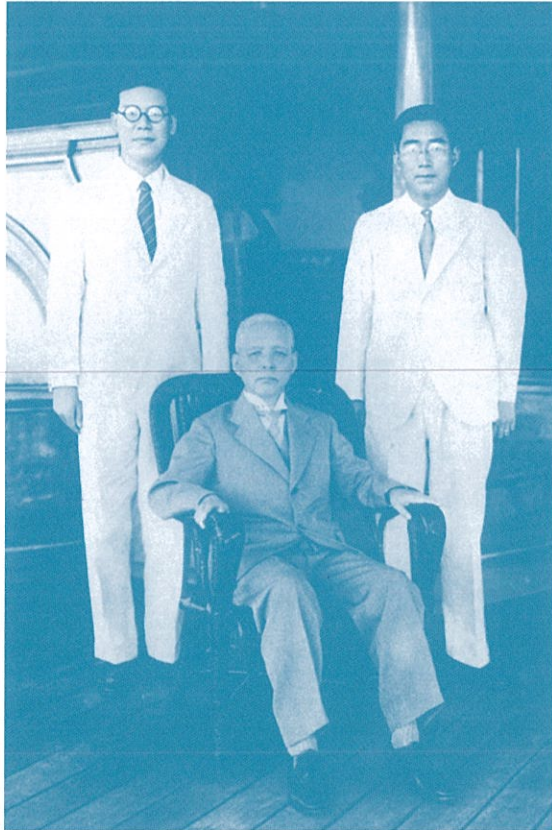
I T S U O A R T M U S E U M

TEL 072-751-3865 阪急文化財団 検索

西洋 ちよこつと

-1935年、小林一三の欧米旅行記から

アンティーク



浅間丸船上にて(右)清水雅・(左)岡次郎と



「婦人像」イギリス、1743年



「田園風景図」フランドル、18世紀

1910年代、箕面有馬電気軌道(阪急宝塚線)を開業し、宝塚少女歌劇(宝塚歌劇)の公演を始めた小林一三。1920年代には宝塚ホテル・阪急百貨店を開き、洋風の生活スタイルを関西にも広めた。そして1930年代、東京宝塚劇場や各地の映画館を次々に開場し、最新の娯楽で人々を楽しませていた。

そんな「昭和モダン」の真っ只中、1935年、小林一三は初めて欧米へと外遊する。電車や歌劇など、大正時代、既に西洋の文化を自らの仕事の一部としていた一三であったが、実は自身では欧米の実状に触れた事が無かった。その1年間に及ぶアメリカからヨーロッパを巡る旅の途次、一三は各国の美術館・博物館を訪れ、また各地で様々な美術工芸品を買い入れている。陶磁やガラスの器、扇や手箱などの装飾品に至るまで、品目は多岐にわたる。ところがアール・デコなど同時代のモダンな製品よりも、むしろ歴史や伝統を感じさせるアンティークといえる品物に、一三は関心を持ったようだ。

本展では、日々の旅行記とともに、外遊記念として持ち帰った品々を展示し、当時、小林一三が抱いていた西洋文化に対する想いをたどる。



〒563-0058 池田市栄本町12-27

阪急電鉄宝塚線「池田」駅下車、北へ徒歩約10分

※専用駐車場は数に限りがございます。ご来館は、電車・バス等公共交通機関をご利用ください。

研究発表と座談会

「1930年代の日欧美術交流(仮)」

3月3日(日)11時~17時

講師 岡 泰正氏(神戸市立小磯記念美術館・神戸ゆかりの美術館 館長)他
※聴講無料、要当日観覧券。美術史学会西支部大会との併催となります

ギャラリートーク

2019年 2月9日(土)・3月23日(土)いずれも14時より
学芸員による展示解説

逸翁美術館

ITSUO ART MUSEUM

TEL 072-751-3865

阪急文化財団 検索

逸翁美術館
次回予告

「池田文庫開館70周年記念 沿線デザイン」-懐かしくて新しい阪急モダン(仮)-

2019年
4月20日(土)~6月16日(日)